

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和4年第45週の発生動向

□ トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が2,579例あり、先週(2,178例)の約1.2倍であった。2022年の累積報告数は201,281例となった。※詳細は宮崎県新型コロナウイルス感染症特設サイトを御覧ください。

□ 全数報告の感染症 (45週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。
- 3 類感染症：報告なし。4 類感染症：つつが虫病 4 例。
- 5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 2 例、梅毒 1 例、播種性クリプトコックス症 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	30歳代	男	肺結核	なし
			50歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			70歳代	男	肺結核	咳、痰、呼吸困難、体動困難
			70歳代	男	肺結核	なし
4類	つつが虫病	宮崎市	70歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹、筋肉痛
		都城	30歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹、全身倦怠感
		日南	70歳代	男	—	発熱、刺し口
		小林	50歳代	男	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹、全身倦怠感
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	都城	0~4歳	女	—	尿路感染症
		高鍋	90歳代	女	—	肺炎
	梅毒	宮崎市	40歳代	男	無症状病原体保有者	なし
	播種性クリプトコックス症	宮崎市	60歳代	男	—	意識障害、中枢神経系病変

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は279人(定点当たり8.2)で、前週比119%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【感染性胃腸炎】

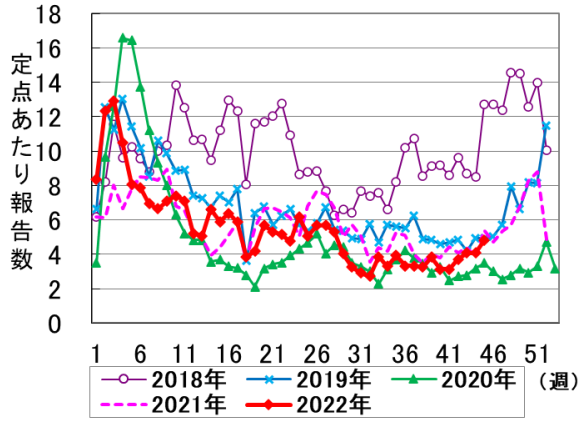
報告数は174人(4.8)で、前週比118%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(6.6)の約0.7倍であった。日南(7.7)、中央(6.0)、小林(5.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約半数を占めた。

【手足口病】

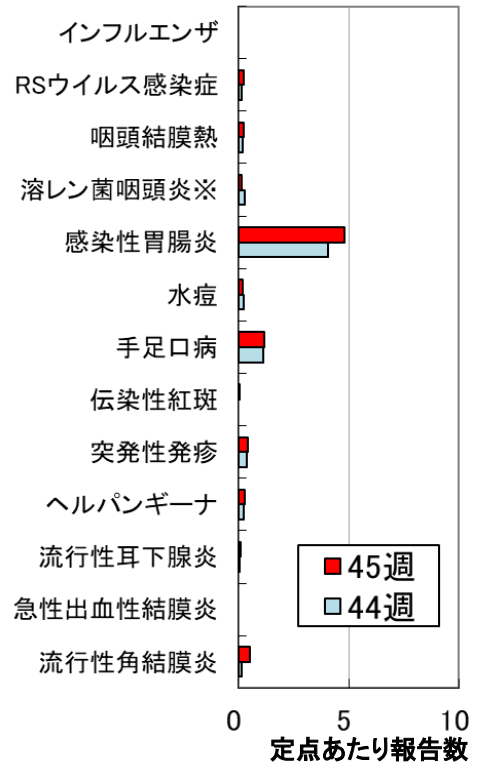
報告数は43人(1.2)で、前週比105%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.2)の約0.5倍であった。日向(2.8)、高鍋(2.3)、延岡(2.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から3歳が全体のほとんどを占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

感染性胃腸炎 発生状況

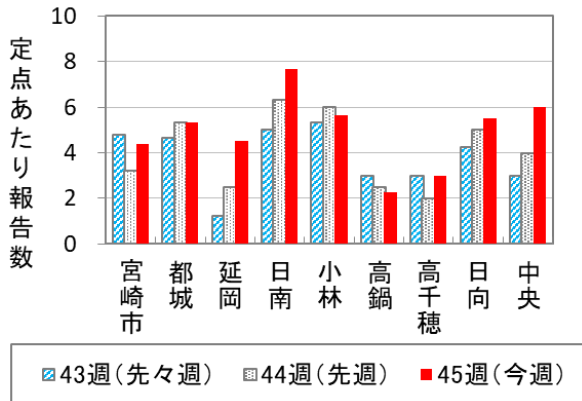


《前週との比較》

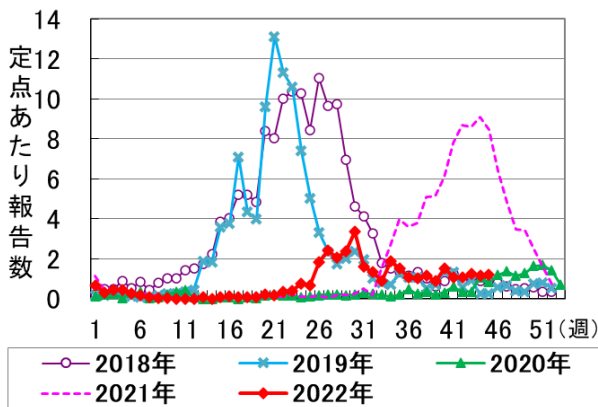


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

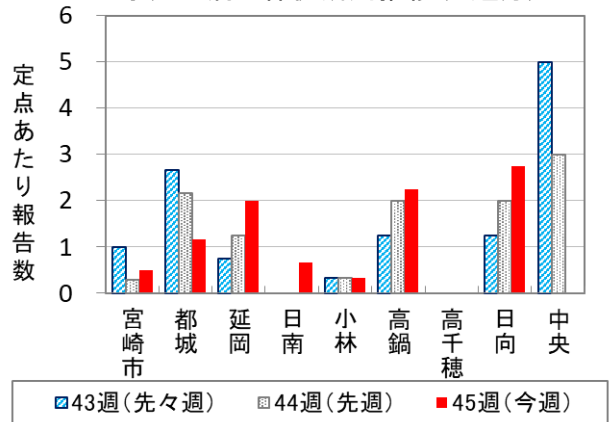
感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	水痘(1.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

※ 流行注意報レベル基準値※
・水痘(1)

🇯🇵 全国 2022 年第 44 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	166 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	37 例	腸チフス	1 例		
4類感染症	E型肝炎	11 例	A型肝炎	1 例	オウム病	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	1 例	つつが虫病	14 例	デング熱	3 例
	日本紅斑熱	10 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	25 例
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	27 例
	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8 例
	後天性免疫不全症候群	6 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	32 例
	水痘(入院例)	3 例	梅毒	158 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	百日咳	6 例	風しん	1 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 96% とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱及び伝染性紅斑で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病及びヘルパンギーナであった。

RSウイルス感染症の報告数は 2,681 人(0.85)で前週比 90% と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.59) の約 1.4 倍であった。山形県(3.8)、沖縄県(2.7)、山口県、徳島県(2.3)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳以下が全体の約 9 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 7,664 人(2.4)で前週比 103% とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値* (3.2) の約 0.8 倍であった。大分県(5.5)、島根県(5.2)、福井県(4.7)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 4 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

📊 月報告対象疾患の発生動向 <2022年10月>

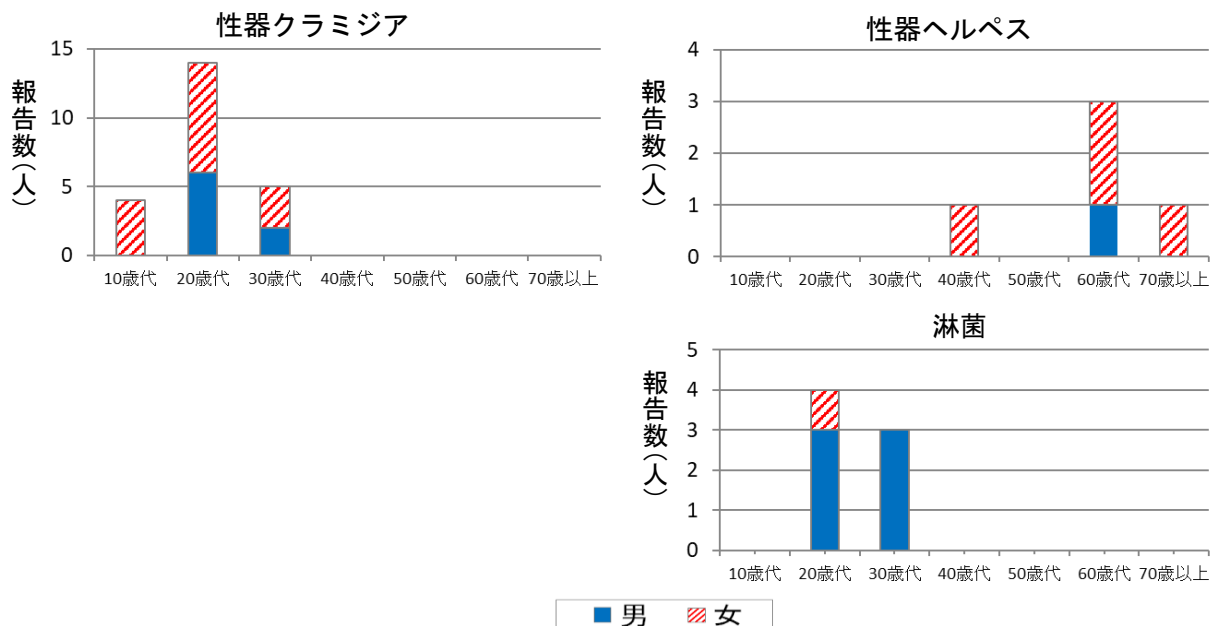
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は35人(2.7)で、前月比117%と増加した。また、昨年10月(2.6)と同程度であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数23人(1.8)で、前月の約1.2倍、昨年10月の約1.3倍であった。20歳代が全体の約6割を占めた。(男性8人・女性15人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数5人(0.38)で、前月と同率、昨年10月の約0.5倍であった。(男性1人・女性4人)
- 尖圭コンジローマ：報告なし。
- 淋菌感染症：報告数7人(0.54)で、前月の約1.8倍、昨年10月の3.5倍であった。(男性6人・女性1人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,857人(5.0)で、前月比107%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,701人(2.8)で前月比106%、性器ヘルペスウイルス感染症736人(0.75)で前月比109%、尖圭コンジローマ517人(0.53)で前月比104%、淋菌感染症903人(0.92)で前月比108%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は31人(4.4)で、前月比124%と増加した。また、昨年10月(2.4)の約1.8倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数31人(4.4)で、前月の約1.2倍、昨年10月の約1.9倍であった。70歳以上が全体の約9割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,310人(2.8)で、前月比99%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,225人(2.6)で前月比96%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症79人(0.17)で前月比170%、薬剤耐性緑膿菌感染症6人(0.01)で前月比50%であった。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第45週(11月07日～11月13日)

疾病名	第44週	第45週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス	報告数	5	9	4	4		1				
感染症	定点当り	0.14	0.25	0.40	0.67	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	7	8	7				1			
	定点当り	0.19	0.22	0.70	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
A群溶血性	報告数	10	5		2	1				2	
レンサ球菌咽頭炎	定点当り	0.28	0.14	0.00	0.33	0.33	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
感染性胃腸炎	報告数	147	174	44	32	18	23	17	9	3	22
	定点当り	4.08	4.83	4.40	5.33	4.50	7.67	5.67	2.25	3.00	5.50
水痘	報告数	9	7		4	3					
	定点当り	0.25	0.19	0.00	0.67	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	41	43	5	7	8	2	1	9	11	
	定点当り	1.14	1.19	0.50	1.17	2.00	0.67	0.33	2.25	0.00	2.75
伝染性紅斑	報告数		1	1							
	定点当り	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	13	15	7	3	1	1	1		2	
	定点当り	0.36	0.42	0.70	0.50	0.25	0.33	0.33	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	8	11	2	2	1	1	5			
	定点当り	0.22	0.31	0.20	0.33	0.25	0.33	1.67	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	3						2		1
	定点当り	0.06	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	1	3	2	1						
	定点当り	0.17	0.50	0.67	0.50	0.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～45週)

2類感染症	結核	109例(4)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	64例		
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	10例
	日本紅斑熱	11例	レジオネラ症	3例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	6例
	急性脳炎	3例	クリプトスポリジウム症	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	8例
	梅毒	85例(1)	播種性クリプトコックス症	6例(1)
	百日咳	14例	破傷風	5例
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	201281例(2579)		

()内は今週届出分、再掲